

OPEN STM AE

製品の概要

OPEN STM®シリーズは、CATV 事業者の様々な通信系サービスを監視し、統合監視システムの基盤機能を提供する、CATV 事業者向けの業務系アプリケーションです。

AE (Agent Engine)は、ネットワーク末梢の端末機器に常駐する SNMP エージェントと定期的に通信し、ネットワーク末梢の端末機器の動作状態や構成設定情報を低ネットワーク負荷で高速に収集する、OPEN STM シリーズの基幹ソフトウェア製品です。

製品の特長

ビッグデータ分析による潜在的な問題の顕在化

- 大量状態ログの高速収集機能により、従来にない様々な切り口でのデータ分析手法を実現
- 他社製品に比べて圧倒的に短い収集周期により、間歇的な障害の取りこぼしを極小化
- 瞬時値から累積値への主要指標の移行により、従来見落としていた隠れた症状を炙り出し
- 他製品（OPEN STM TIMs, Grafana 等）との組み合わせによる収集データの可視化

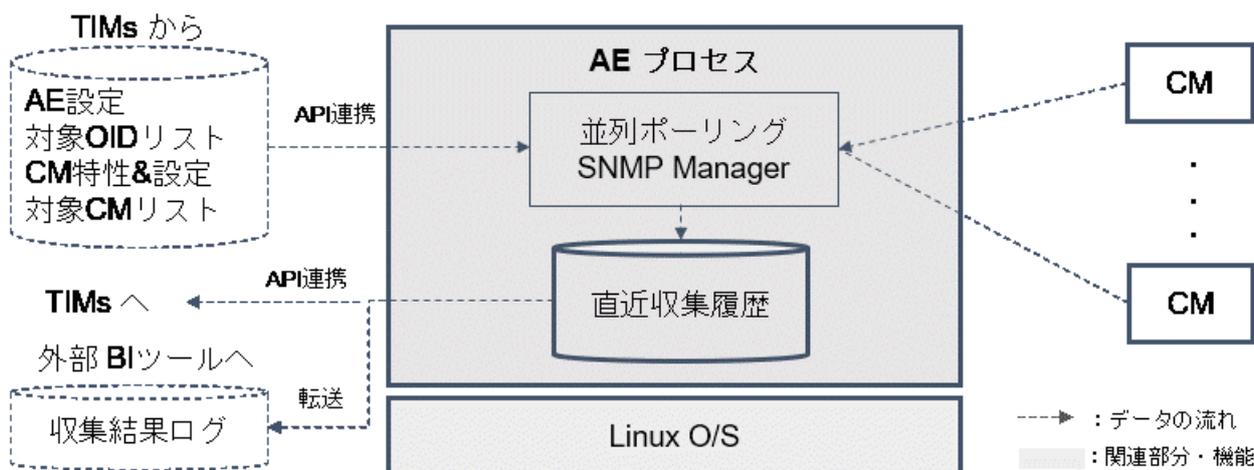
3 種類のポーリング方式の組み合わせによる柔軟な運用形態

- 短周期ポーリング（5～20 分周期を柔軟に指定可）
 - ↳ 大量の OID 監視指標（最大 300 迄。ユーザーが自由に設定可）を高速に収集
- 長周期ポーリング（1 日周期。DPoE vCM 監視など、より低負荷が必要な場合に有用）
 - ↳ 新 MIB の効果の有効性検証等、短周期に含める前の PoC 用途にも応用可
- リアルタイム集中監視（1～数百秒間の連続的な集中収集機能）
 - ↳ ビッグデータ分析で絞り込んだ特定端末から、秒単位の短間隔で集中的に収集

様々な伝送メディアへの対応

- DOCSIS3.1 OFDM/OFDMA に加え、DOCSIS DPoE ONU の監視にも対応
- ローカル 5G, Wi-Fi 等の OFDM/OFDMA ベースの各種無線メディアにも順次対応予定

機能構成



- 端末機種と設定 OID 数（最大 300）により SNMP PDU サイズを自律調整・最適化
- プロビジョニングシステムや NMS 等から TIMs が収集した最新の対象端末リストを収集の度に動的に反映（対象端末リストの古さによる通信タイムアウトの発生可能性を極小化）
- 自身中に直近の収集結果ログを最大 24 時間分キャッシュ保持
- 長期履歴は TIMs 又は外部 BI ツールに出力（蓄積期間は各々の仕様に依存）
- 1AE あたり最大 25,000 端末迄を収容可（1TIMs あたり AE*4 = 100,000 端末迄）

動作環境

- O/S : RHEL 互換 Linux (Alma Linux を推奨)
- CPU : 2.0GHz * 2 コア以上 (AE Standard * 1 構成で運用時)
- メモリ : 4GB 以上 (同上)
- HDD : 20GB 以上 (同上)
- 必須ソフトウェア : OPEN STM TIMs Core

All Rights Reserved, Copyright© OSS BroadNet Co., Ltd. 2022

本書の一部または全部をオーエスエスブロードネット株式会社に無断で複写・転載することはできません。

本カタログに記載の製品仕様は、予告なく変更される場合がありますので予めご了承下さい

 **BroadNet**
オーエスエスブロードネット株式会社

〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本 3-5-7
TEL 044-820-1501
E-mail sales@ossbn.co.jp
URL <https://www.ossbn.co.jp/>

220727